

# 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の実施結果 概要

## — 速報版 —

### < 目次 >

市民アンケート調査	1
バス利用者アンケート調査	2
バス利用者ヒアリング調査	3
バス停利用者調査	3
企業アンケート調査	4
教育機関アンケート調査	4
通過時刻調査	5
調査結果のまとめ（案）	5

# 市民アンケート調査 (P.1~P.35)

## 1. 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

本調査は、多様化する公共交通に対するニーズや、公共交通の確保・維持に関するあり方を検討する上で必要となる基礎的数値を把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

### (2) 調査対象、調査方法及び回収結果

	内容		内容
調査対象	15歳以上の市民	調査時期	平成28年8月31日(水)~9月13日(火)
配布数	3,000通	回収率	41.8% (回収数: 1,255票/配布数: 3,000票)
抽出方法	無作為抽出	必要サンプル数※	1,059票 (回収数が上回った為、この回答は有効)
調査方法	郵送方法による配布・回収		

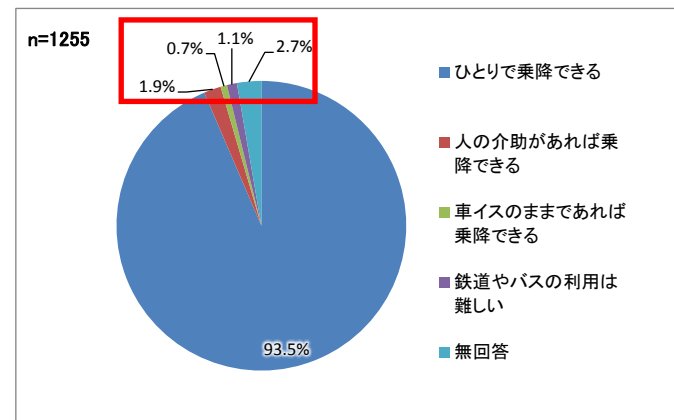
※H28年7月時点の15歳以上の人口を母集団とし、信頼度95%で調査精度±3%を確保する場合

## 2. 項目別集計結果

### (1) 移動条件について

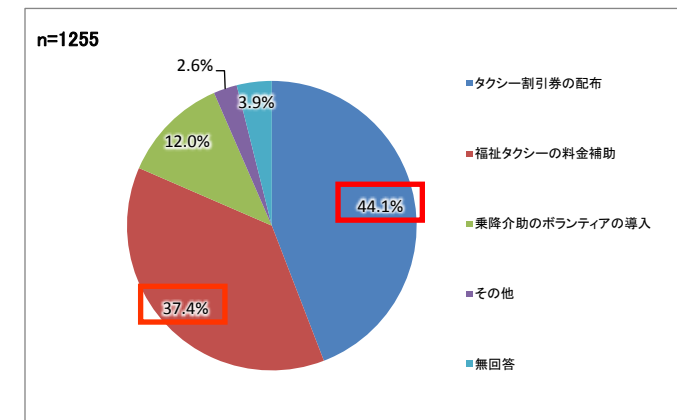
#### 〈問7〉鉄道やバスの乗り降りについて

■「ひとりで乗降できる」が約94%を占める一方、「人の介助があれば乗降できる」、「車イスのままであれば乗降できる」がそれぞれ約1~2%、「鉄道やバスの利用は難しい」とされる方も約1%存在しています。



#### 〈問8〉自力での移動が困難になったときに実施してほしい施策

■「タクシー割引券の配布」が約44%と最も多く、次いで「福祉タクシーの料金補助」が約37%となっています。

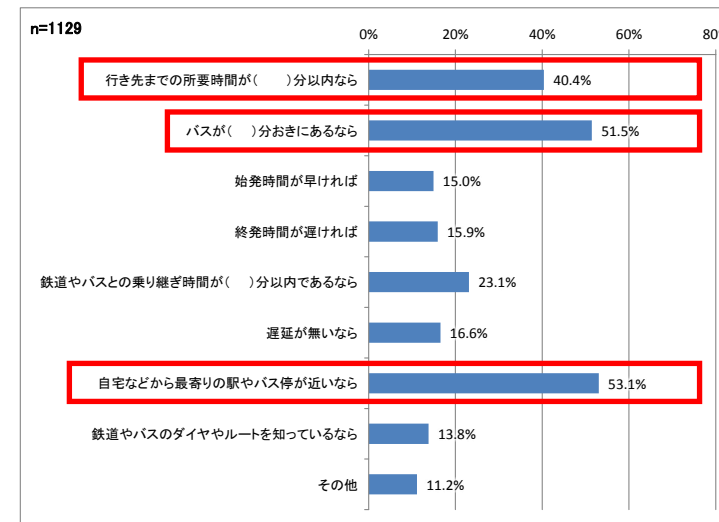


### (2) 自家用車の利用について

#### 【自家用車の利用者への質問】

#### 〈問12〉公共交通が利用可能となる条件

■「自宅などから最寄りの駅やバス停が近いなら」が約53%と最も多く、次いで「バスが( )分おきにあるなら」「行き先までの所要時間が( )分以内なら」の順に多くなっています。

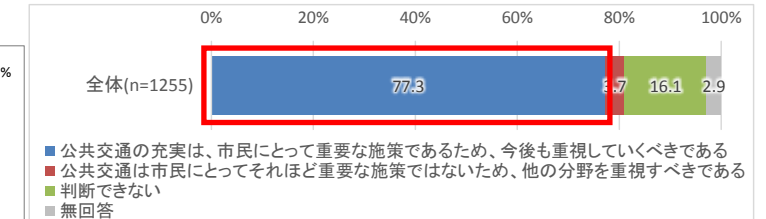


※複数回答

### (3) こまき巡回バスについて

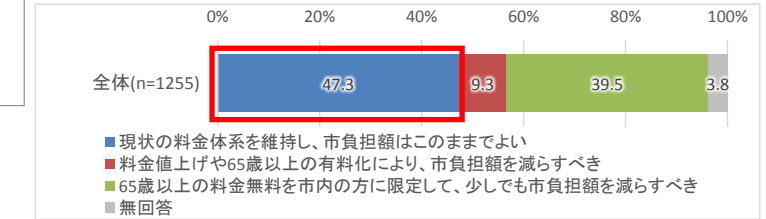
#### 〈問25〉公共交通に対する市の方向性について

■「公共交通の充実が、市民にとって重要な施策であるため、今後も重視していくべきである」が約77%を占めています。



#### 〈問26〉こまき巡回バスの料金体系について

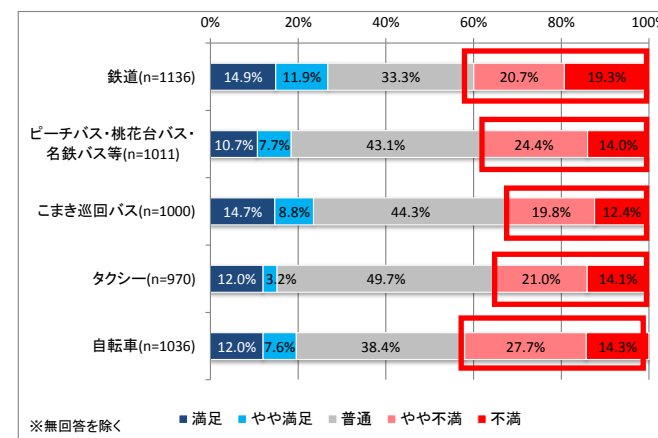
■「現状の料金体系を維持し、市負担額はそのままよい」が約47%を占め占める一方、「65歳以上の料金無料を市内の方に限定して、少しでも市負担額を減らすべき」も約40%存在します。



### (4) 公共交通の維持・活性化について

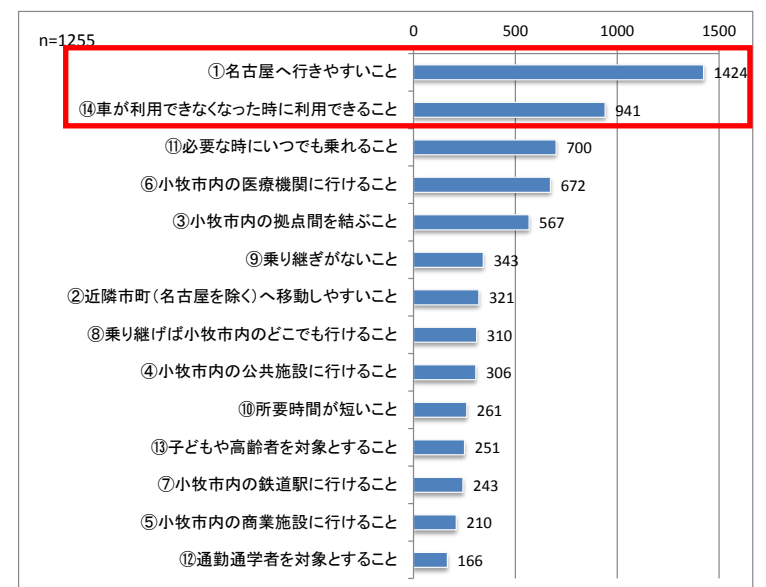
#### 〈問29〉小牧市内の交通環境の満足度

■いずれの交通手段も、不満足度が満足度を上回っています。



#### 〈問30〉今後の公共交通に期待する役割

■「名古屋へ行きやすいこと」がもっとも多く、次いで「車が利用できなくなった時に利用できること」が多くなっています。



※上位3つを選択

※1つ目を3ポイント、2つ目を2ポイント、3つ目を1ポイントとして集計

# バス利用者アンケート調査 (P.72~P.92)

## 1. 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

本調査は、市内を運行する路線バス及びこまき巡回バスの満足度、重要度、改善点等の意向を把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

### (2) 調査対象、調査方法及び回収結果

	内容		内容
調査対象	小牧市内を運行するバス路線（ピーチバス・桃花台バス・名鉄バスの各路線及びこまき巡回バスの各コース）の調査期間における全利用者	調査時期	路線バス：平成 28 年 9 月 8 日(木) (9 月 26 日(月)に補足調査を実施) こまき巡回バス：平成 28 年 9 月 4 日(日) ～9 月 10 日(土)
配布数	14,147 通 路線バス（ピーチバス・桃花台バス・名鉄バス）：11,234 通 こまき巡回バス：2,913 通	回収率	23.9% (回収数：3,383 票/配布数：14,147 票)
調査方法	バス車内での配布 郵送方法による回収	必要サンプル数※	1,937 票 (回収数が上回った為、この回答は有効)

※調査期間中の利用者（H27 年 9 月の利用者数より想定利用者数を算出）を母集団とし、信頼度 95%で調査精度±3%を確保する場合

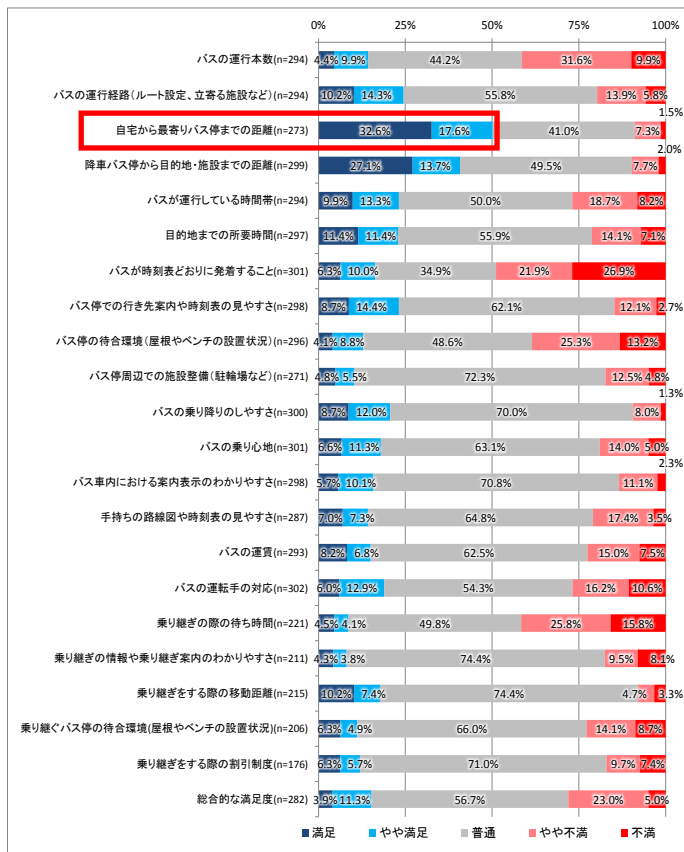
## 2. 調査結果

### (1) アンケートを受け取ったバスの満足度について

#### 【ピーチバスの利用者への質問】

##### 〈問 13〉ピーチバスの満足度

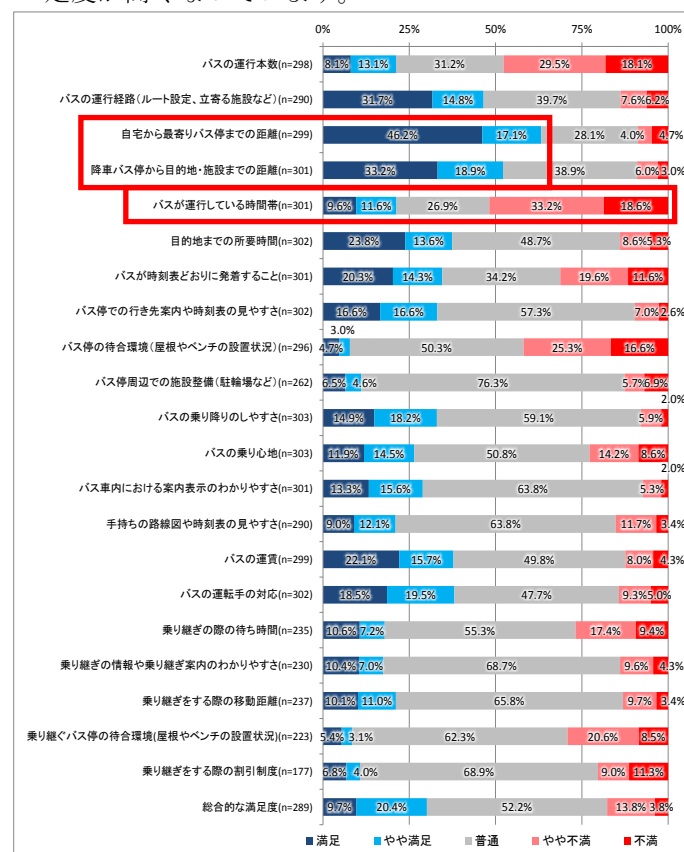
■「自宅から最寄りバス停までの距離」の満足度が高くなっています。



#### 【桃花台バスの利用者への質問】

##### 〈問 13〉桃花台バスの満足度

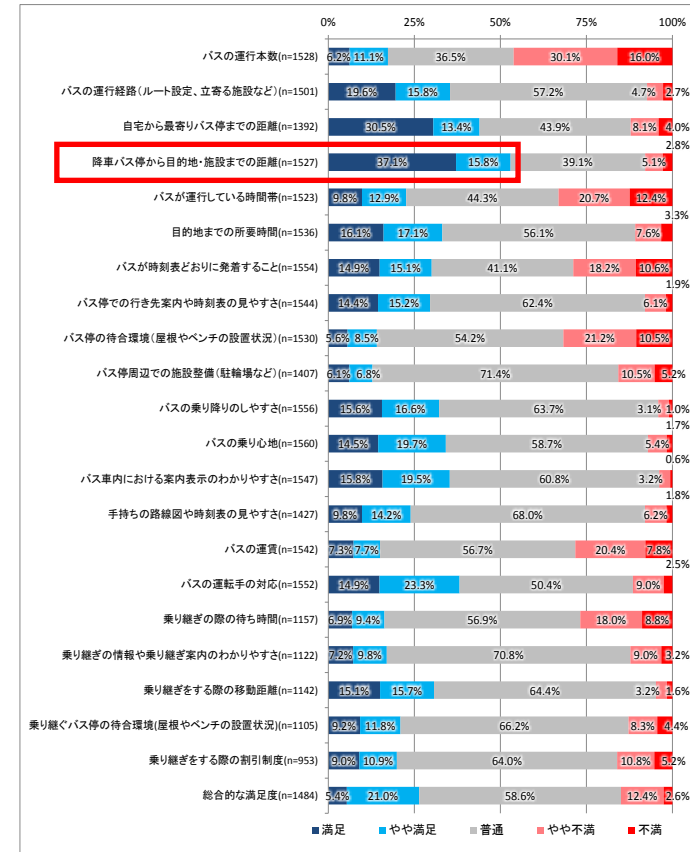
■「自宅から最寄りバス停までの距離」「降車バス停から目的地・施設までの距離」の満足度が高くなっていますが、一方で「バスが運行している時間帯」の不満足度が高くなっています。



#### 【名鉄バスの利用者への質問】

##### 〈問 13〉名鉄バスの満足度

■「降車バス停から目的地・施設までの距離」の満足度が高くなっています。

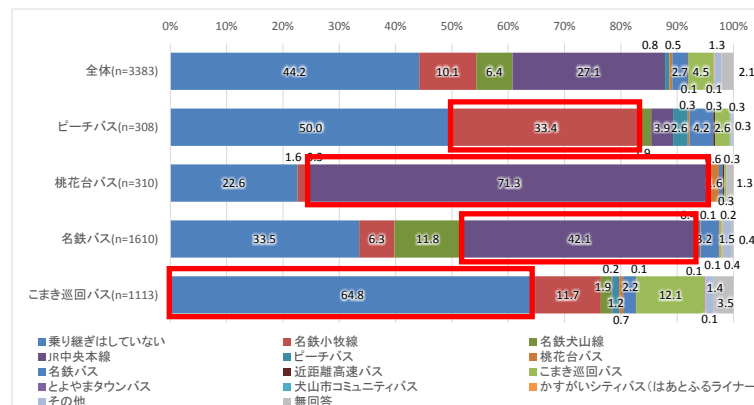


### (2) バスの利用について

#### 〈問 8〉乗り継ぎ利用について

■ピーチバスでは「名鉄小牧線」への乗り継ぎが約 33%、桃花台バスでは「JR 中央本線」への乗り継ぎが約 71%、名鉄バスでは「JR 中央本線」への乗り継ぎが約 42% となっています。

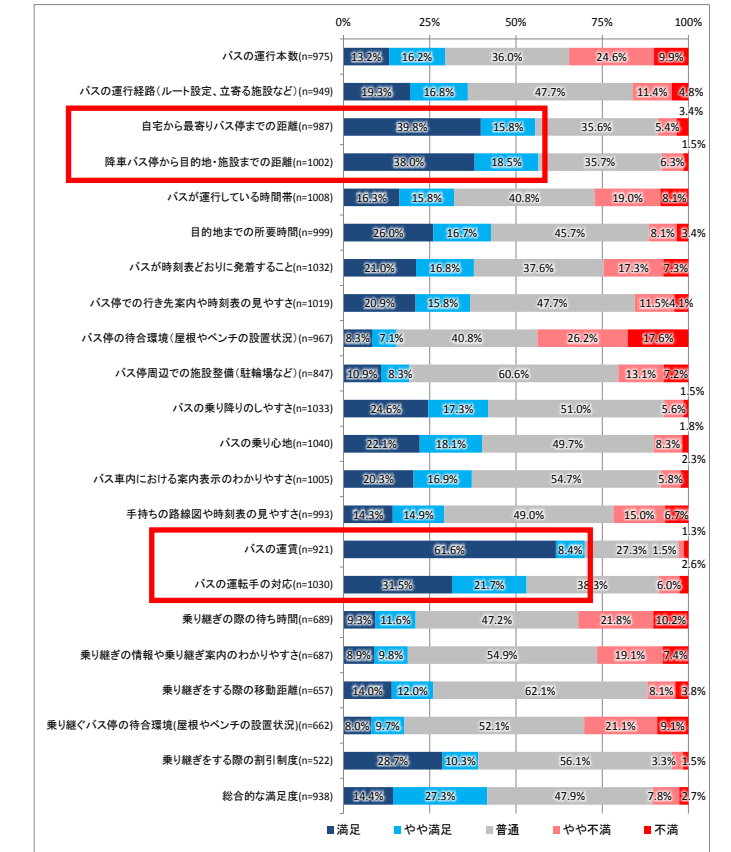
■一方、こまき巡回バスでは「乗り継ぎしていない」が約 65%と多くなっています。



#### 【こまき巡回バスの利用者への質問】

##### 〈問 13〉こまき巡回バスの満足度

■「自宅から最寄りバス停までの距離」「降車バス停から目的地・施設までの距離」「バスの運賃」「バスの運転手の対応」の満足度が高くなっています。

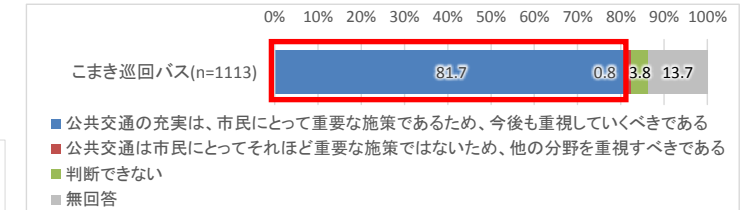


### (3) こまき巡回バスの維持について

#### 【こまき巡回バスの利用者への質問】

##### 〈問 16〉公共交通に対する市の方向性について

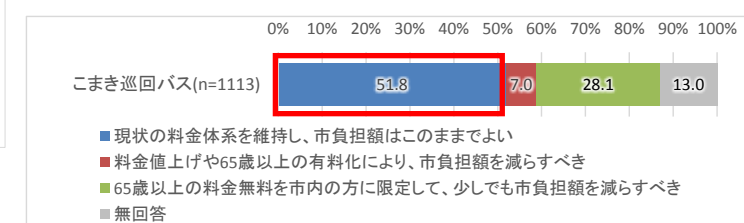
■「公共交通の充実、市民にとって重要な施策であるため、今後も重視していくべきである」が約 82%を占めています。



#### 【こまき巡回バスの利用者への質問】

##### 〈問 17〉こまき巡回バスの料金体系について

■「現状の料金体系を維持し、市負担額はそのままよい」が約 52%を占めています。





# バス利用者ヒアリング調査 (P.36~P.71)

## 1. 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

本調査は、市内を運行する路線バス利用者の乗降バス停と、こまき巡回バス利用者の乗降バス停、利用目的、利用頻度等を把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

### (2) 調査対象及び調査方法

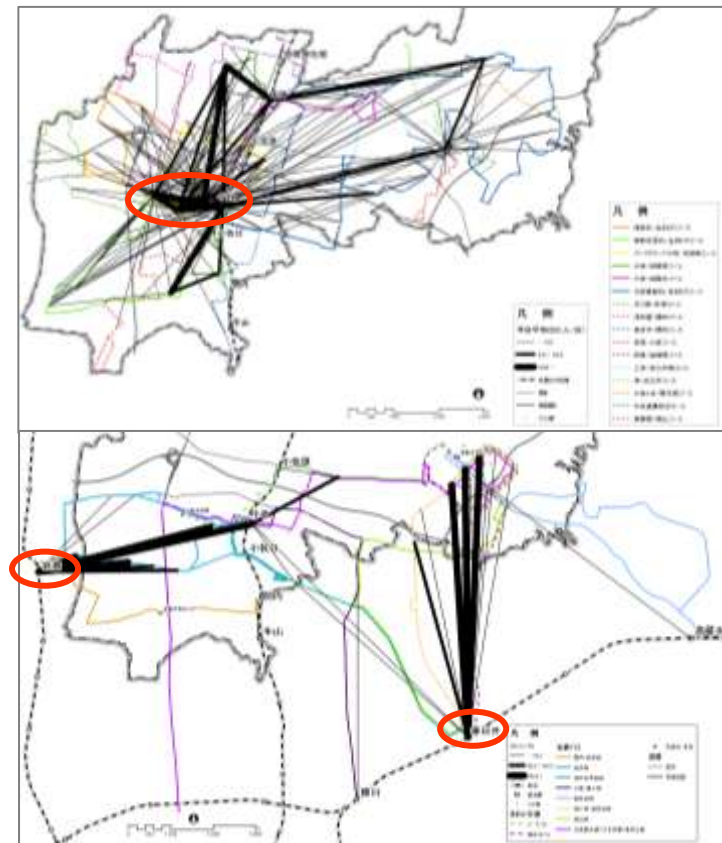
	内容
調査対象	小牧市内を運行するバス路線（ピーチバス・桃花台バス・名鉄バスの各路線及びこまき巡回バスの各コース）の調査期間における全利用者
調査票数	路線バス : 8,878 票 こまき巡回バス : 12,329 票
調査方法	路線バス : バス車内での、調査員によるカード配布・回収（乗降バス停のみ） こまき巡回バス : バス車内での調査員によるヒアリング
調査時期	路線バス : 平成 28 年 9 月 26 日（月） こまき巡回バス : 平成 28 年 9 月 4 日（日）～9 月 10 日（土）

## 2. 項目別集計結果

### (1) バスの利用実態

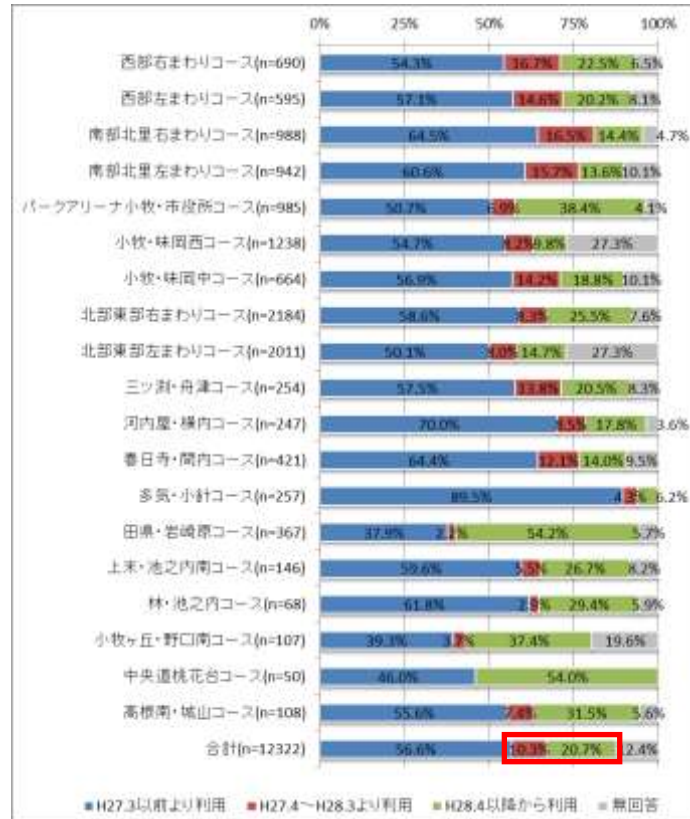
#### バス停間 OD

こまき巡回バスは、「小牧駅」や「小牧市役所前」と各地域を結ぶ利用、路線バスは、「春日井駅」や「岩倉駅」と市内を結ぶ移動が多くなっています。



#### 利用開始時期

こまき巡回バス利用者全体では、こまき巡回バスの路線再編以降である「H27.4～H28.3より利用」または「H28.4以降から利用」が約31%となっています。



# バス停利用者調査 (P.93~P.102)

## 1. 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

本調査は、中央道桃花台バス停の利用実態や問題点を把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

### (2) 調査対象及び調査方法

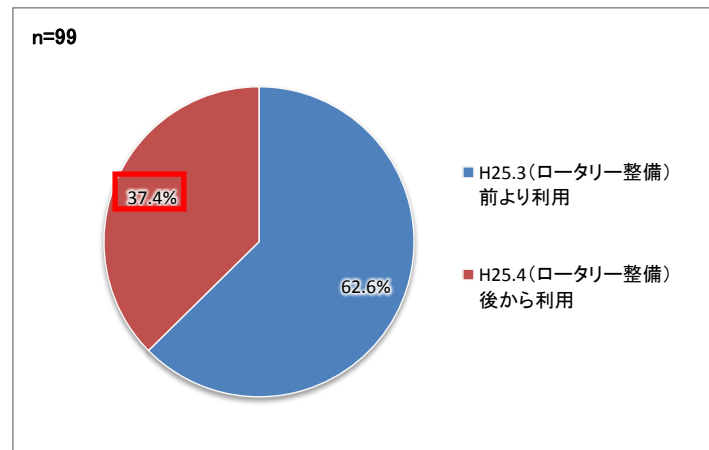
	内容
調査対象	中央道桃花台バス停の平日 1 日の利用者
調査票数	312 票
調査方法	中央道桃花台バス停での、調査員によるヒアリング
調査時期	平成 28 年 9 月 8 日（木）

## 2. 項目別集計結果

### (1) 中央道桃花台バス停の利用実態

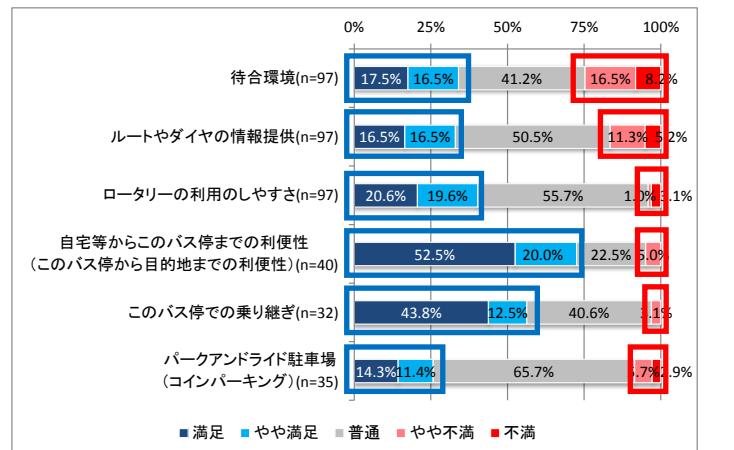
#### 中央道桃花台バス停の利用開始時期

ロータリー整備以降の新規利用者は約 37%となっています。



#### 中央道桃花台バス停の各種利用環境に対する満足度

どの項目においても満足度が不満足度を上回っています。



# 企業アンケート調査 (P.103~P.108)

## 1. 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

本調査は、小牧市内に立地する企業における従業員の通勤実態や公共交通利用の可能性などを把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

### (2) 調査対象、調査方法及び回収結果

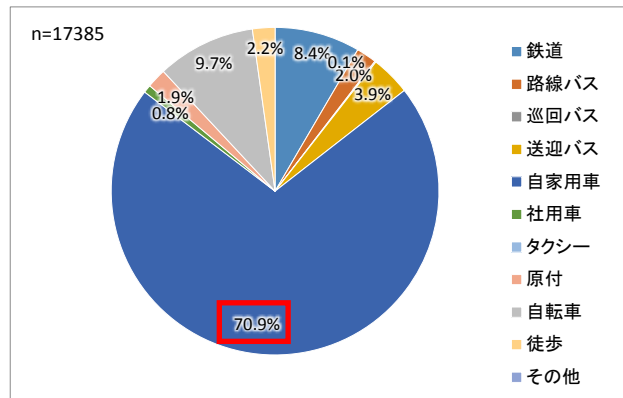
	内容		内容
調査対象	小牧市内に立地する従業員 50 人以上の事業所及びその従業員	調査時期	平成 28 年 8 月 31 日(水)~9 月 15 日(木)
配布数	262 事業所	回収率	37.0% (回収数: 97 事業所/配布数: 262 事業所)
調査方法	郵送方法による配布・回収	従業員アンケート配布事業所	28 事業所

## 2. 項目別集計結果

### (1) 従業員の通勤時の交通手段について

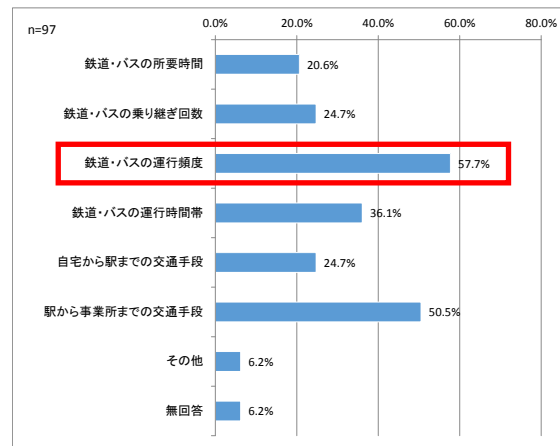
#### 〈問 2〉従業員の通勤時の交通手段

■従業員の通勤時の交通手段は、「自家用車」が約 71%と最も多くなっています。



#### 〈問 5〉通勤のために公共交通を利用する際に不便だと思う点

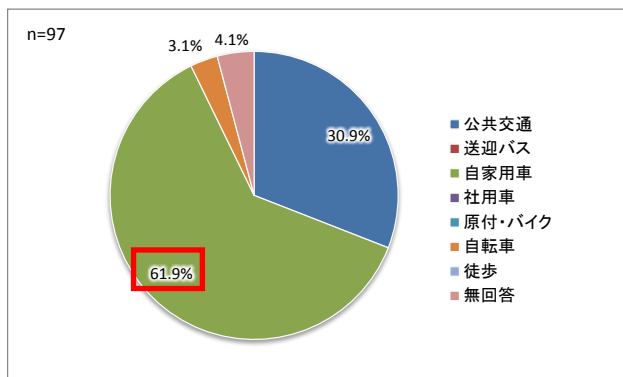
■「鉄道・バスの運行頻度」が約 58%と最も多くなっています。



※複数回答

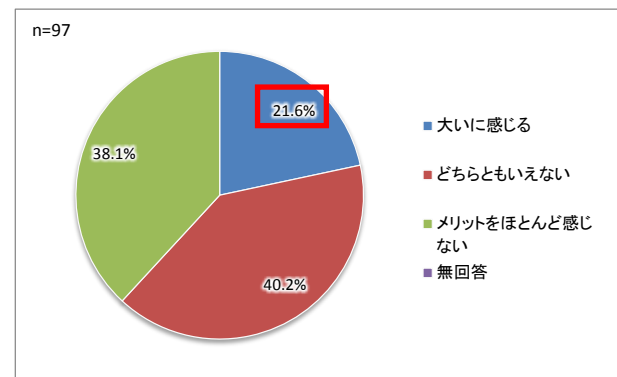
#### 〈問 6〉企業にとって望ましい通勤手段

■企業にとって望ましい通勤手段は「自家用車」が約 62%を占めています。



#### 〈問 9〉通勤手段として公共交通の利用を促進することに“メリット”を感じるか

■通勤手段として公共交通の利用を促進することに約 22%が“メリット”を「大いに感じる」と回答しています。



# 教育機関アンケート調査 (P.109~P.113)

## 1. 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

本調査は、小牧市内及びその周辺に立地する高校・大学における生徒・学生の通学実態や公共交通利用の可能性などを把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

### (2) 調査方法及び調査対象、回収結果

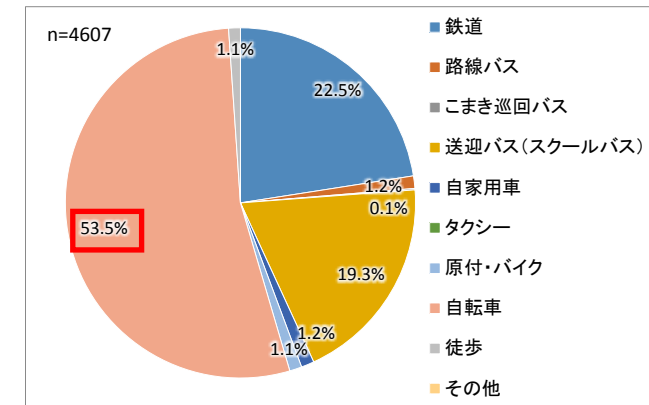
	内容		内容
調査対象	小牧市内及びその周辺に立地する高校及び大学	調査時期	平成 28 年 8 月 29 日(月)~9 月 9 日(金)
配布数	7 校	回収率	85.7% (回収数: 6 校/配布数: 7 校)
調査方法	郵送方法による配布・回収	学生アンケート配布校	0 校

## 2. 項目別集計結果

### (1) 学生の通学時の交通手段について

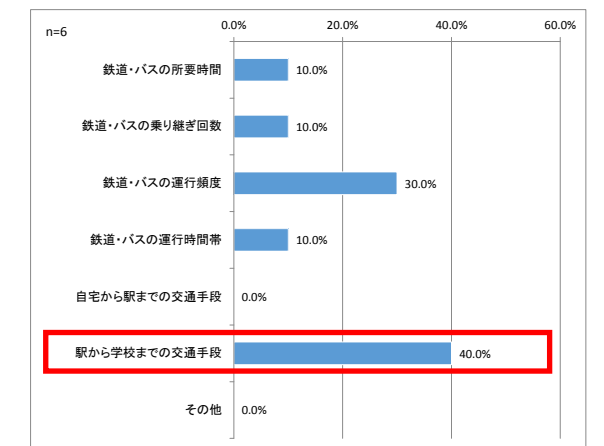
#### 〈問 2〉学生の通学時の交通手段

■学生の通学時の交通手段は、「自転車」が約 54%と最も多くなっています。



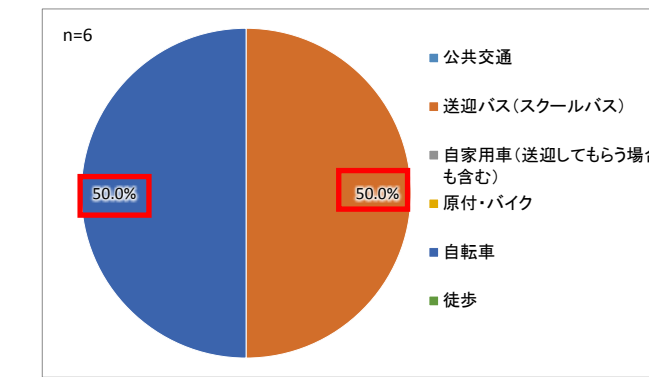
#### 〈問 5〉通学のために公共交通を利用する際に不便だと思う点

■「駅から学校までの交通手段」が約 40%と最も多くなっています。



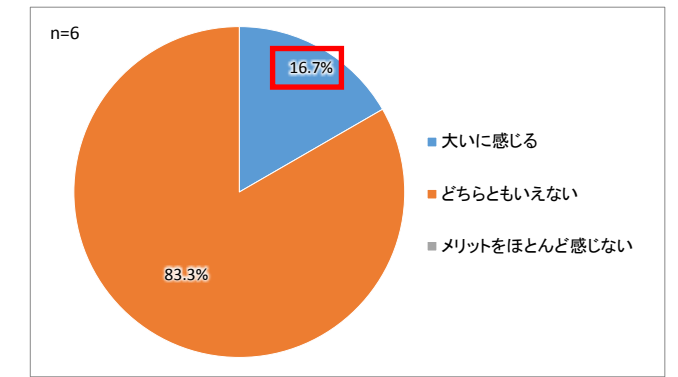
#### 〈問 6〉学校にとって望ましい通学手段

■学校にとって望ましい通学手段は「自転車」と「送迎バス(スクールバス)」がそれぞれ半数を占めています。



#### 〈問 8〉通学手段として公共交通の利用を促進することに“メリット”を感じるか

■通学手段として公共交通の利用を促進することに約 17%が“メリット”を「大いに感じる」と回答しています。





# 通過時刻調査

## 1. 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

本調査は、こまき巡回バスのバス停間の所要時間や遅延時間等を把握し、こまき巡回バスの安全性・定時性の確保に向けた課題を抽出することを目的とします。

### (2) 調査方法及び調査対象、回収結果

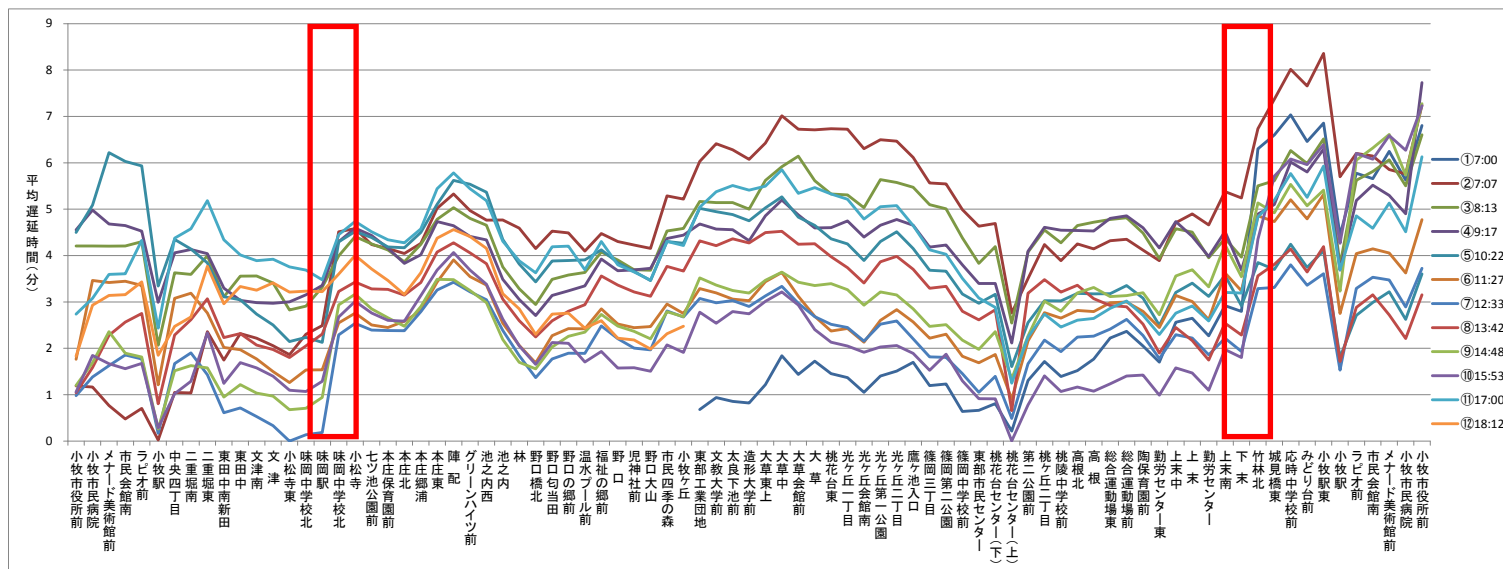
	内容
調査対象	こまき巡回バスの1週間(連続する7日間)の全コース全便
調査期間	平成28年9月4日(日)～9月10日(土)
調査方法	11～19コース(35人乗りノンステップバス) : 車内での調査員による記録 51～60コース(ワンボックスバス) : 車内でのGPS機器による観測

## 2. 路線別集計結果

### (1) こまき巡回バスの運行実態について

#### 18 北部東部右まわりコースの遅延状況

■北部東部右まわりコースでは、「味岡駅」「味岡中学校北」バス停間や「下末」「竹林北」バス停間など特定の区間で、いずれの便においても遅延時間が増大する区間が存在しています。



# 調査結果のまとめ(案)

小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種アンケート等の調査の趣旨である以下の4つの視点から、現段階での調査結果をまとめました。

### (1) 小牧市総合交通計画に掲げる施策の進捗状況を把握する。

■市民アンケート問29の市内交通環境の満足度では、小牧市総合交通計画策定時のアンケート結果に比べ、鉄道、路線バス(ピーチバス・桃花台バス・名鉄バス等)、こまき巡回バスにおいて、満足度が改善されています。

(鉄道: 約24%⇒約27% 路線バス: 約16%⇒約18% こまき巡回バス: 約15%⇒約24%)

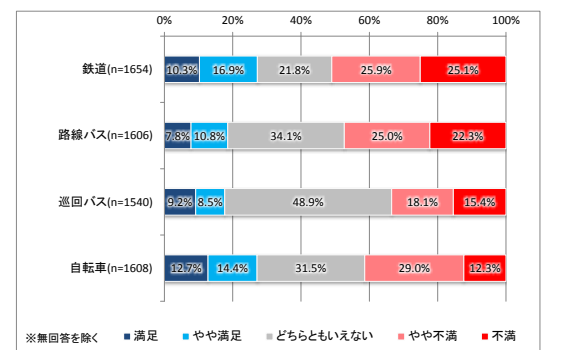
■バス利用者アンケート問13のバスサービスや乗り継ぎに関する満足度では、こまき巡回バスのバス停位置や運賃に関する項目において、他の項目よりも満足度が高くなっています。

■バス利用者ヒアリングでは、こまき巡回バスの利用者のうち、3割は路線再編後の新規利用者となっています。

■バス停利用者調査では、ロータリー整備後の新規利用者が一定数存在しているとともに、項目別の満足度において、全ての項目で満足度が不満足度を上回っています。

以上のことから、こまき巡回バスの路線再編や中央道桃花台バス停前ロータリー等の整備など、小牧市総合交通計画に掲げる施策には、一定の効果があったと考えられます。

図 小牧市総合交通計画策定時のアンケート結果



### (2) 各公共交通機関が連携して地域の交通需要に対応するため、それぞれの役割を明確化する。(特に公共交通と福祉施策の住み分けを考慮する)

■市民アンケート問30の今後の公共交通に期待する役割では、名古屋への行きやすさ、将来的な利用、医療機関や拠点間の移動に期待する意見が多くなっています。

■また、市民アンケート問7の鉄道やバスの乗り降りについて、乗降介助や車イスでの乗車が必要な方が一定数存在します。

■バス利用者アンケート問8の乗り継ぎ利用では、路線バスから名鉄小牧線やJR中央本線への乗継利用が多くを占めており、複数の公共交通機関を乗り継いで利用する方が多い状況です。

以上のことから、小牧市地域公共交通網形成計画の策定にあたっては、市民の市内外への移動ニーズに対し、路線機能に応じた各公共交通機関の役割の明確化と更なる相互連携が求められます。

### (3) 市民に許容される財政負担額や、利用者に許容される受益者負担額を把握する。

■市民アンケート問26のこまき巡回バスに対する費用負担では、現状程度の負担を求める意見が5割、65歳以上の料金無料を市内の方に限定し市の負担減を求める意見が4割を占めています。

■バス利用者アンケート問17のこまき巡回バスに対する費用負担では、現状程度の負担を求める意見が5割を占めている一方で、65歳以上の料金無料を市内の方に限定し市の負担減を求める意見が3割を占めています。

以上のことから、小牧市地域公共交通網形成計画の策定にあたっては、現在の財政負担状況や市民及び利用者の意向を踏まえた受益者負担額の検討が求められます。

### (4) こまき巡回バスの各コースについて、乗降バス停やダイヤの妥当性などの実態を把握する。

■バス利用者アンケート問14の今後バスサービスを維持・拡充していく際に重視する項目では、こまき巡回バスにおいて運行本数、運行時間帯、運行経路、定時性が主に挙げられています。

■通過時刻調査では、特定の区間において、いずれの便においても遅延時間が増大する区間が存在しています。

以上のことから、こまき巡回バスの更なる利便性向上に向け、安全性・定時性を確保しながら利用者ニーズに合致したダイヤの設定が課題です。